

畜産茨城

第498号

令和4年9月30日

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／八木 岡 努

目次

ベトナムのホテルへ常陸牛オブジェ寄贈 … 1	イバラキ病類似疾病の発生とその顛末 … 7
高病原性鳥インフルエンザの近年の発生状況と飼養衛生管理基準について … 2	令和4年7月市況 …………… 10
茨城県畜産センター肉用牛研究所 研究紹介 … 5	地方競馬場外発売日程…………… 10
家畜共済（死亡廃用共済）の損害認定において牛・馬の死亡事故等が画像による確認の対象となりました … 6	令和4年8月市況 …………… 11
	牛マルキン発動状況 …………… 11
	茨城県立農業大学校入学生募集…………… 12

ベトナムのホテルへ常陸牛オブジェ寄贈



▲常陸牛オブジェ除幕式

▲鴨川会長からホテル三日月 小高社長へ揮毫作品贈呈



▲等身大の常陸牛オブジェ

茨城県常陸牛振興協会は、8月28日にベトナムダナン市の大型リゾートホテル「ホテルMikazukiダナン」のオープンを記念して、常陸牛の等身大オブジェを寄贈し、除幕式セレモニーを開催しました。セレモニーには、同協会の鴨川会長、茨城県家畜商業協同組合の鈴木副理事長、茨城県畜産協会の藤原が出席しました。

ダナン市はベトナム中部に位置し、現在リゾート開発が活発に進められており、今後、国内外から多くの観光客が訪れることが予想されます。今年6月にグランドオープンした同ホテルは、日本

文化の発信地をコンセプトに、随所に日本らしい装飾が施され、ホテルのレストランで提供される和牛肉には常陸牛が採用されています。

当日のセレモニーでは、常陸牛オブジェを寄贈するとともに、書道家・安田舞氏による「常陸牛」揮毫作品を贈呈しました。また、ホテルの宿泊客やバイヤーら約350名に常陸牛ローストビーフの試食が提供され、販路開拓のための商談会も実施しました。常陸牛の評判は上々で、アジア地域での常陸牛の知名度向上と今後の輸出市場拡大の大きな足がかりとなりました。

茨城県畜産協会

高病原性鳥インフルエンザの近年の発生状況と飼養衛生管理基準について

茨城県鹿行家畜保健衛生所

近年の高病原性鳥インフルエンザは、2年連続で全国の多数の農場で発生し、どこで発生してもおかしくないといえる状況となりました。

令和3年度の発生状況

昨年、令和3年のシーズンは、幸いにも本県では発生がありませんでしたが、全国では九州から北海道の12道県25事例と2年連続で多数の農場で発生し、約189万羽が殺処分されました。

このシーズンの特徴は、終盤の3月から5月にかけて東北や北海道で9事例も発生が相次いだことです。いつまで流行が続くのだろうと不安に思われた方もいたかもしれません。

また、初めて野外飼育されていたダチョウ(エミュー)での感染が確認されました。野鳥での確認も8道府県107事例にのぼり、その8割近くが東北・北海道のカラス、ワシ、タカといった肉食の留鳥で確認されました(図1)。

図1 令和3年度国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和4年6月10日時点) **MAFF**
農林水産省

○家さん 12道県25事例

※羽数の単位は万羽

地域	疑似感病判定日	用途	羽数	畜種
1 秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3	HSN1
2 鹿児島県出水市	11/13	採卵鶏	約3.8	HSN1
3 鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1	HSN1
4 兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5	HSN1
5 熊本県市町村	12/3	肉用鶏	約6.7	HSN1
6 千葉県市川市	12/5	あひる(アイガモ)	約90.03	HSN1
7 埼玉県東武野呂町	12/7	採卵鶏	約1.7	HSN1
8 広島県福山市	12/7	採卵鶏	約3.0	HSN1
9 青森県三戸町	12/12	肉用鶏	約0.7	HSN1
10 愛媛県西条市	12/31	採卵鶏	約1.9	HSN1
11 愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約0.3	HSN1
12 愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約14.2	HSN1
12 新潟県 新潟県新潟市	1/4	採卵鶏	約0.6	-
13 新潟県 新潟県新潟市	1/13	肉用鶏	約5.4	HSN1
13 新潟県 新潟県新潟市	1/13	肉用鶏	約5.7	-
14 千葉県八千代市	1/19	肉用鶏	約6.8	HSN1
15 千葉県市川市	1/20	あひる	約0.17	HSN1
15 新潟県 新潟県新潟市	1/26	あひる	約0.12	-
15 新潟県 新潟県新潟市	1/26	あひる	約0.11	-
15 新潟県 新潟県新潟市	1/26	あひる	約0.04	-
16 岩手県久慈市	2/12	肉用鶏	約4.5	HSN1
17 宮城県石巻市	3/25	肉用鶏	約2.2	HSN1
18 青森県横浜町	4/9	肉用鶏	約1.7	HSN1
19 青森県横浜町	4/15	肉用鶏	約1.1	HSN1
20 北海道白老町	4/16	採卵鶏	約52	HSN1
21 北海道網走市	4/16	だちょう(エミュー)/採卵鶏	約0.05/約0.01	HSN1
22 秋田県大館市	4/19	採卵鶏	約0.04	HSN1
23 北海道網走市	4/26	だちょう(エミュー)	約0.01	HSN1
24 岩手県一関市	5/12	だちょう(エミュー)	約0.001	HSN1
25 北海道網走市	5/14	採卵鶏	約0.08	HSN1

○野鳥 8道府県107事例

検体回収場所	検体回収日	種名	畜種	検体回収場所	検体回収日	種名	畜種
1 鹿児島県出水市	11/8	環境試料(水)	HS	35 北海道白老町	3/8	ハシブトガラス	HSN1
2 宮城県宮崎市	11/9	糞便	HSN1	36 岩手県久慈市	3/14	ハシブトガラス	HSN1
3 鹿児島県出水市	11/19	ナベツル	HSN1	37 北海道札幌市	3/14	ハシブトガラス	HSN1
4 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HSN1	38 北海道札幌市	3/14	ハシブトガラス	HSN1
5 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HSN1	39 北海道札幌市	3/14	ハシブトガラス	HSN1
6 鹿児島県出水市	11/29	環境試料(水)	HSN1	40 岩手県久慈市	3/15	オオハクチョウ	HSN1
7 鳥取県鳥取市	12/1	環境試料(水)	HSN1	41 北海道札幌市	3/22	オジロワシ	HS
8 鹿児島県出水市	12/6	環境試料(水)	HSN1	42 北海道札幌市	3/24	オジロワシ	HS
9 鹿児島県出水市	12/20	環境試料(水)	HSN1	43 岩手県久慈市	3/25	ハシブトガラス	HS
10 北海道苫小牧市	1/2	オジロワシ	HSN1	44 北海道札幌市	3/25	ハシブトガラス	HS
11 鹿児島県出水市	1/10	環境試料(水)	HSN1	45 北海道札幌市	3/29	オオハクチョウ	HS
12 北海道札幌市	1/20	ハシブトガラス	HSN1	46 岩手県久慈市	3/31	ハシブトガラス	HS
13 北海道札幌市	1/23	ハシブトガラス	HSN1	47 北海道札幌市	3/31	ハシブトガラス	HSN1
14 北海道札幌市	1/23	オジロワシ	HS	48 北海道札幌市	4/1	ハシブトガラス	HS
15 北海道札幌市	1/22	オオハクチョウ	HS	49 北海道札幌市	3/31	ハシブトガラス	HS
16 東京都府中市	1/27	ノスリ	HSN1	50 岩手県久慈市	4/6	ハシブトガラス	HS
17 北海道札幌市	1/28	ハシブトガラス	HSN1	51 北海道札幌市	4/2	ハシブトガラス	HSN1
18 北海道札幌市	2/3	ハシブトガラス	HSN1	52 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	HSN1
19 北海道札幌市	2/2	オジロワシ	HS	53 北海道札幌市	4/9	オジロワシ	HSN1
20 北海道札幌市	2/7	ハシブトガラス	HSN1	54 北海道札幌市	4/6	ハシブトガラス	HS
21 北海道札幌市	2/8	ハシブトガラス	HSN1	55 北海道札幌市	4/6	ハシブトガラス	HS
22 北海道札幌市	2/8	ハシブトガラス	HSN1	56 北海道札幌市	4/8	ハシブトガラス	HSN1
23 北海道札幌市	2/8	ハシブトガラス	HSN1	57 北海道札幌市	4/8	ハシブトガラス	HSN1
24 岩手県久慈市	2/8	オオハクチョウ	HSN1	58 北海道札幌市	4/9	ハシブトガラス	HSN1
25 北海道札幌市	2/10	オジロワシ	HSN1	59 北海道札幌市	4/12	クマタカ	HSN1
26 岩手県久慈市	2/11	ハシブトガラス	HSN1	60 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	HSN1
27 岩手県久慈市	2/13	ハシブトガラス	HSN1	61 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	HSN1
28 北海道札幌市	2/14	ハシブトガラス	HSN1	62 北海道札幌市	4/4	ハシブトガラス	HSN1
29 北海道札幌市	2/14	ハシブトガラス	HSN1	63 北海道札幌市	4/5	ハシブトガラス	HSN1
30 岩手県久慈市	2/14	オオハクチョウ	HSN1	64 北海道札幌市	4/9	ハシブトガラス	HSN1
31 北海道札幌市	2/15	ハシブトガラス	HSN1	65 北海道札幌市	4/9	オジロワシ	HSN1
32 岩手県久慈市	2/15	オオハクチョウ	HSN1	66 北海道札幌市	4/9	ハシブトガラス	HSN1
33 岩手県久慈市	2/16	オオハクチョウ	HSN1	67 北海道札幌市	4/12	ハシブトガラス	HSN1
34 福島県二本松市	2/18	マガモ	HS	68 北海道札幌市	4/11	ハシブトガラス	HSN1
35 北海道札幌市	2/18	ハシブトガラス	HSN1	69 北海道札幌市	4/13	ハシブトガラス	HSN1
36 岩手県久慈市	2/17	オオハクチョウ	HSN1	70 北海道札幌市	4/11	ハシブトガラス	HS
37 岩手県久慈市	2/17	ハシブトガラス	HSN1	71 北海道札幌市	4/15	オジロワシ	HS
38 岩手県久慈市	2/12	マガモ	HS	72 北海道札幌市	4/18	ヒシギ	HS
39 岩手県久慈市	2/22	ハシブトガラス	HSN1	73 北海道札幌市	4/19	オジロワシ	HS
40 北海道札幌市	2/19	ハシブトガラス	HSN1	74 秋田県大館市	4/19	ハシブトガラス	HS
41 岩手県久慈市	2/21	オオハクチョウ	HS	75 北海道札幌市	4/15	オジロワシ	HS
42 岩手県久慈市	2/22	ハシブトガラス	HS	76 北海道札幌市	4/20	ハシブトガラス	HS
43 岩手県久慈市	2/22	オオハクチョウ	HS	77 北海道札幌市	4/20	クマタカ	HSN1
44 岩手県久慈市	2/24	ノスリ	HSN1	78 北海道札幌市	4/22	ハシブトガラス	HSN1
45 岩手県久慈市	2/24	ハシブトガラス	HSN1	79 北海道札幌市	4/26	オジロワシ	HS
46 岩手県久慈市	2/25	トビ	HSN1	80 北海道札幌市	4/28	ハシブトガラス	HS
47 北海道札幌市	2/24	ハシブトガラス	HSN1	81 北海道札幌市	4/25	オジロワシ	HS
48 岩手県久慈市	2/28	カルガモ	HS	82 北海道札幌市	4/29	トビ	HS
49 岩手県久慈市	3/1	ハシブトガラス	HSN1	83 北海道札幌市	4/18	オジロワシ	HSN1
50 北海道札幌市	3/1	ハシブトガラス	HSN1	84 北海道札幌市	5/6	オジロワシ	HS
51 北海道札幌市	3/3	オジロワシ	HSN1	85 北海道札幌市	4/25	ハシブトガラス	HSN1
52 北海道札幌市	3/1	ハシブトガラス	HSN1	86 北海道札幌市	5/6	オジロワシ	HS
53 岩手県久慈市	3/4	ハシブトガラス	HSN1	87 北海道札幌市	5/14	オジロワシ	HSN1
54 北海道札幌市	3/8	オオハク	HS				

農林水産省HPより

※詳細は環境省 <https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird/flu/>

令和2年度の発生状況

一昨年、令和2年度は、それまで経験したことのない規模で全国的に発生しました。

このシーズンは、香川県で1例目が確認されたのを皮切りに、令和3年3月に栃木県で確

認されるまで18県52事例もの発生となりました。発生は九州から北関東に及び、その中には100万羽を超える大規模農場もあり、関連農場を加えると76農場・施設で約987万羽が殺処分されました。

本県でも令和3年2月に1農場で発生があり、約84万羽の鶏が殺処分される事態となりました。

令和2年度以前の発生状況

それに対して、令和2年度以前は、平成15年に79年ぶりに国内で発生して以降、平成15年3府県4農場、平成18年2県4農場、平成22年9県24農場、平成26年5県6農場、平成28年9道県12農場、平成29年1県1農場という、数年おきの比較的限られた数の農場での発生でした。(これ以外に、低病原性鳥インフルエンザは平成17年2県41農場、平成20年1県7農場で発生しています。)

海外の令和3年以降の発生状況

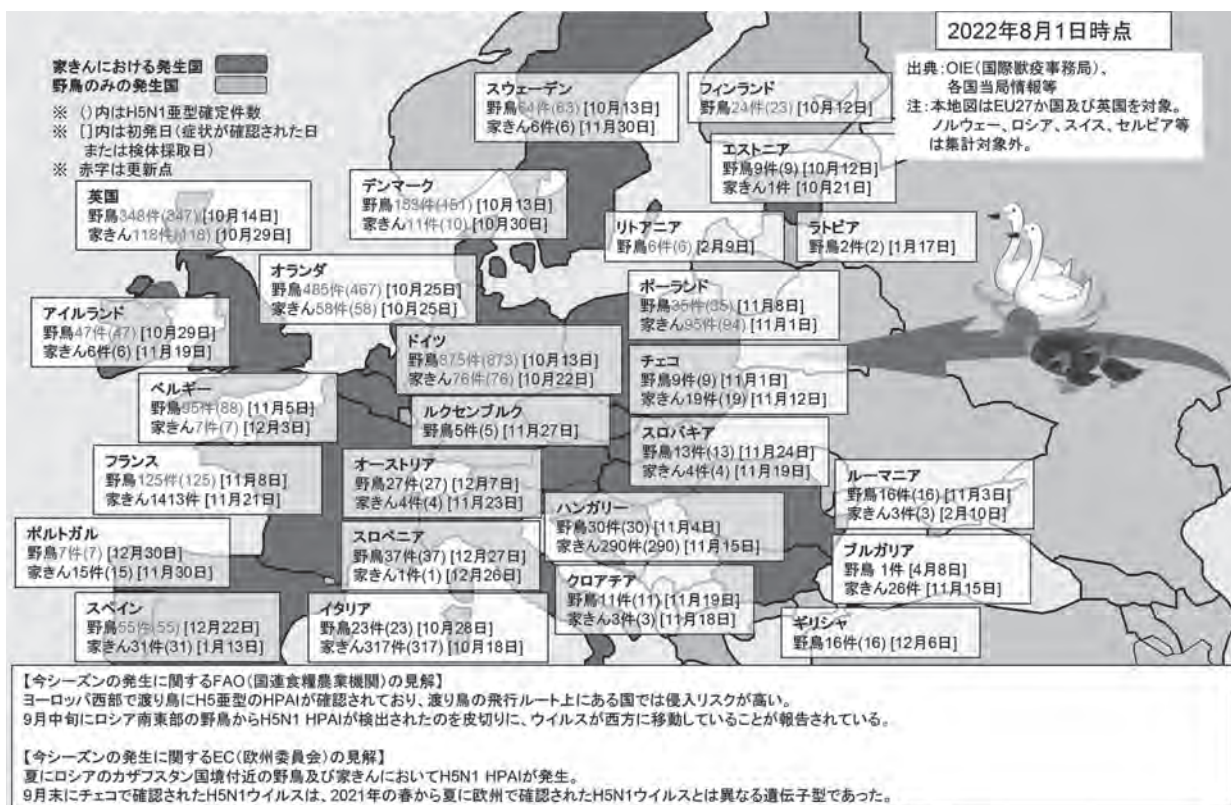
海外においても、近年、各地で多発しています。

アジアでは、令和3年度のシーズン、隣国の韓国で日本同様流行があり、47例で発生し約557万羽（予防的殺処分含む）が殺処分されました。

近隣の台湾、ベトナム、フィリピン、ロシアでも発生が報告されています。

また、令和2年、令和3年の流行は前年のヨーロッパでの流行に関係していると言われていますが、昨年もヨーロッパでは大きな流行がありました(図2)。これらの海外の状況から、今シーズンも日本へウイルスが持ち込まれるリスクは低いといえます。

図2 欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2021年10月以降)



農林水産省HPより

飼養衛生管理基準の改正

海外から家畜伝染病が侵入するリスクは年々高まっています。

令和2年に全畜種の飼養衛生管理基準が改正されましたが、前述の令和2年度シーズンの高病原性鳥インフルエンザ流行を受け、令和3年にさらに改正・施行されました。

新たな飼養衛生管理基準は、発生予防とまん

延防止に努めることは家畜・家きん所有者の責務であることが明記され、

- ・衛生管理マニュアルの作成
- ・愛玩動物の飼育禁止
- ・農場入口での更衣
- ・車両運転手の交差汚染防止
- ・家きん舎以外の保管庫・堆肥舎等の野鳥等の侵入防止(ネット等)

- ・農場内の整理整頓・消毒
- ・農場から搬出する物品の消毒
- ・大規模所有者は家きん舎ごとに衛生管理者を配置すること
- ・大規模所有者のうち県知事が認める者は発生に備えた対応計画を作成すること等の追加や、より具体的な内容が定められています（表1）。

表1 改正された家畜衛生管理基準の概要

I	家畜防疫に関する基本的事項	・農場平面図作成 ・衛生管理マニュアル作成・周知 ・記録の作成と保管 ・大規模所有者の通報ルール・家きん舎ごとの衛生管理担当者・防疫計画策定 ・埋却地の準備 ・愛玩動物の農場内飼育禁止 ・担当獣医師・診療施設を定める等
II	農場への病原体の侵入防止	・関係者以外の立ち入り制限 ・農場に立ち入る者の手指消毒・更衣・靴交換 ・農場に立ち入る車両の消毒 ・他農場・施設で使用した物品の持込制限 ・海外からの物品の持込制限 ・家きんの導入時の健康観察等
III	農場内での病原体の汚染拡大防止	・家きん舎に立ち入る者の手指消毒・靴交換 ・家きん舎で使用する物品の制限及び消毒 ・家きん舎・堆肥舎・倉庫等の野生動物侵入防止 ・ネズミ・害虫の駆除 ・場内の整理・清掃・消毒 ・家きんの健康観察等
IV	農場外への病原体の拡散防止	・農場を退出する者の手指消毒・更衣・靴交換 ・農場を退出する車両の消毒 ・農場で使用した物品の消毒 ・家きんの出荷・移動時の健康観察 ・家きんの異状時の移動停止・通報等

農林水産省のホームページに最新の飼養衛生管理基準を説明したガイドブック及びチェックリストが紹介されていますので、参考にしてください。

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/)

なお、今年4月1日より、豚及び家きん飼養者が農林水産省の補助事業・交付金・制度資金を利用するためには飼養衛生管理基準の遵守が要件となりました。

今一度、家きん舎等のネットの設置補修、農場及び家きん舎に出入りする時の衣服・靴交換、手指消毒、車両消毒、ネズミ・害虫駆除等

を中心に飼養衛生管理基準を点検し、ウイルスの農場侵入や地域拡散の防止に努めましょう。



茨城県畜産センター肉用牛研究所 研究紹介

茨城県畜産センター肉用牛研究所 飼養技術研究室

当研究室では、主に和牛繁殖農家の経営コスト削減や所得向上のため、放牧等、省力・低コスト技術の開発に取り組んでいます。

現在は、早期母子分離による子牛生産性向上に向けた試験研究と放牧に適した草種の試験研究の2課題について研究しているので、その内容について紹介します。

1 早期母子分離・人工哺乳による黒毛和種子牛生産性向上技術試験(令和元年度～令和5年度)

早期離乳は、母牛の発情回帰の早期化による分娩期間の短縮が見込まれることから、子牛の増頭に繋がる有効な技術です。

本試験においては、労力や経費を含む生産コストの検証に加え、子牛の発育・第一胃への影響、母牛の繁殖性への影響、離乳時の咆哮（鳴き声）の影響等について検証し、人工哺乳期間の明確化および早期母子分離による子牛生産技術の体系化を図ることを目的としています。

現時点までの結果としては、生後3日で母子分離し、強化哺乳代用乳（たんぱく質28%）で45日間と60日間哺乳した試験区と90日間親付きで自然哺乳した対照区を比較したところ、子牛の発育や第一胃の活動について差はありませんでした。また、試験区においては、母子分離後の咆哮回数の低減、子宮回復、初回発情の早



人工哺乳のようす

期化および分娩間隔が短縮する等繁殖性が向上する傾向がみられています。

今後、さらなる検体数の積み重ねを図るとともに、生産コストの検証を行い、早期母子分離による子牛生産技術の体系化、情報提供をしていきたいと考えています。

2 茨城県における繁殖和牛の周年放牧管理技術の確立(令和2年度～令和6年度)

放牧を活用した飼養管理の省力化により、飼養規模を拡大し、繁殖和牛の増頭を図るため、新たに茨城県北部に適した耕作放棄地などでの放牧利用草種として、耐湿性に優れた新品種の放牧適応性を検証するとともに、これまでの研究で開発した放牧対策を総合的に組み合わせた、生産者が簡易に取り組みやすい周年放牧管理技術の開発を目指します。



放牧の様子

そこで、夏用牧草（飼料用ヒエ）と寒冷地用牧草（フェストロリウム）を組み合わせ、効果的な周年放牧技術の実証を行っています。

これまでに、それぞれ繁殖牛1頭、10aあたり飼料用ヒエで約70日、フェストロリウムで、約130日の放牧が可能との結果が得られました。

家畜共済(死亡廃用共済)の損害認定において牛・馬の死亡事故等が画像による確認の対象となりました

茨城県農業共済組合連合会
事業部家畜課

家畜共済における死亡廃用共済の損害認定では、現地において、死亡廃用共済に付された家畜に共済事故が生じたことなどを確認しなければなりません。これまで種豚及び特定肉豚の死亡事故（特定事故（火災、伝染性の疾病又は風水害その他気象上の原因による死亡事故をいう。）を除く。）限定で、現地での確認に代えて画像による確認が認められていました。

近年、スマートフォンなどの情報通信機器の普及により、従来より鮮明度の高い画像や、その他の損害の認定が発生したことを確認するために必要な情報の送受信が容易に行うことができるようになってきていることから、令和4年7月より画像による確認の対象に牛及び馬の死亡事故並びに種豚及び特定肉豚の特定事故が追加されました。

画像確認の方法については、「画像による確認方法」のとおりとなります。

家畜共済（死亡廃用共済）のご加入者で、画像確認の詳しい内容を知りたい方は、最寄りの農業共済組合にお問合せ下さい。

（注意事項）

- ・加入者の方が撮影する画像は、携帯電話、スマートフォン、デジタルカメラ等により撮影したもので、画像データとして電子メール等により送信できるものに限ります。また、撮影方法は適切な事故確認を行うために、農業共済組合の指示する一定の方法で行っていただく必要があります。
- ・農業共済組合は、画像確認に必要な情報が得られていないときは、現地確認に切り替えて損害認定を行います。

画像による確認方法

組合員等が組合等に提出する画像

- ・画像には撮影年月日データ及びGPSデータを付加
- ・以下のAからEまでの画像について、各画像名の下に記載された内容が分かるように撮影

A 事故家畜の画像

- ① 組合等が指定した塗料が次に塗布された全体像
耳標装着牛、馬及び種豚：目及び鼻
耳標未装着子牛：目、鼻、地表に近い側の前肢及び体表（死亡年月日を記載）
肉豚：目、鼻、地表に近い方の前肢及び体表（死亡年月日及び通し番号を記載）。
※1 肉豚の通し番号は、同一個体の重複申告を防止できるよう、指定の数字形式を使用するとともに、最大桁の上方及び下一桁の下方に横線を付記。
※2 肉豚は体長が分かるようメジャーとともに撮影。
※3 GPSデータを付加できない場合は、撮影場所が組合員等の飼養場所であることが分かるよう予め組合等が定めた目印とともに撮影。
- ② 付票（耳標、截耳、入墨等）【牛、馬及び種豚の場合】
- ③ 性別が分かる陰部の画像【耳標未装着子牛及び馬の場合】
- ※ ①、②及び③は、同一個体を撮影したことが分かるように撮影

B 母牛の耳標の画像【耳標未装着子牛の場合】

C 母牛の繁殖関係書類の画像【耳標未装着子牛の場合】

- ・母牛の耳標の番号により当該母牛の繁殖関係書類であることが分かること
- ・事故家畜の種付日、妊娠鑑定日等が分かること

D 飼養記録の画像【馬及び種豚の場合】

- ・付票から事故家畜の記録であることが分かること
- ・出生・導入、死亡等の異動歴
- ・種付け、分娩等の繁殖歴（ある場合のみ）

E 焼失、風水害等の状況の分かる畜舎等施設の画像又は罹災証明書等書類の画像【事故事由が火災又は風水害その他気象上の原因によるもの場合】

イバラキ病類似疾病の発生とその顛末

茨城県獣医師会 後 藤 義 之

地球温暖化により海外の温帯地域で蚊やダニ媒介感染症の流行が報告され、国内で2014年夏約70年ぶりにデング熱が流行したことは、記憶に新しいところである。温帯地域における蚊媒介性感染症の流行は、国内に常在しない感染症であっても媒介昆虫とともに海外からウイルスが持ち込まれ、媒介能力がある蚊類が生息すれば流行が起こることを示している。

過去、大流行したイバラキ病は、病状がブルータングウイルスに類似していることからブルータング様ウイルス、疾病名も「ブルータング様疾病」と呼ばれていた。その後、茨城県下の発症牛から新たにウイルスが分離されたことによってイバラキウイルス、病名もイバラキ病と命名されるに至った。現在、イバラキ病の発生はなくなり発病牛そのものをみる機会もなくなったが、私は家衛試九州支場在職中、1981年鹿児島県で22年ぶり、1987年宮崎県とイバラキ病の発生に遭遇し、宮崎県の発病牛からイバラキウイルスを分離するに至った。



イバラキウイルス粒子直径50～60nm被膜に包まれている（宮崎県発症牛血液から分離）

1994年9月県北家畜保健衛生所長が顔色を変え当時、私が室長であった家衛試ウイルス製剤研究室へ駆け込んで来られ、どうもD町の和牛に嚥下障害を主徴とする不明疾病が発生しており、何とか対応をお願いしたいと言われた。発病牛の臨床所見を伺うと発熱、嚥下障害、飲水不能などの症状を示しておりイバラキ病に近

い、しかし家保の病性鑑定によると農家で発病した牛血清はイバラキウイルスの中和試験に反応しないため、原因は異なるようだとされた。そのため当初、イバラキ病様疾病の発生ということで原因究明することになった。そこで所長へイバラキ病様の和牛をみたいと願い出たところ、すでに水戸ミートセンターへ搬入されているということから、すぐ現場へ直行した。搬入されていた発病牛は、まさにイバラキ病に特徴的な症状である、咽喉頭麻痺による嚥下障害とともに飲水逆流、流涎が認められ、臨床所見からも脱水症状を呈しており、イバラキウイルスに近いウイルスに起因することが考えられた。また中央食肉公社にもイバラキ病様発病牛が搬入され、と殺解体処理されているが検体は残されているということで、ウイルス分離のためへパリン加血液を採取するとともに病理材料を採取した。成書によると嚥下障害を示す疾病はイバラキ病でありブルータングウイルスは牛に嚥下障害を引き起こさないと記載されていた。結局、発病牛の血液からウイルスは分離されなかったが、食道筋肉の硝子様変性、鼻、口腔粘膜の潰瘍など病理学的所見からもブルータングウイルス感染が強く疑われた。しかし、ブルータングウイルスの血清型は24（現在は28血清型）あり、血清学的診断として中和試験による抗体検査は困難であったため、ゲル内沈降反応用抗原を作製し、茨城県で剖検時採取した牛血清及び送付されてきた周辺農家の発病牛血清についてゲル内沈降反応を実施したところ陽性が確認できた。さらに、この頃ヒトのウイルス性疾病診断にPCR法による遺伝子診断が導入され始めており、すぐ応用してみると陽性反応が確認されたのである。

また同時期に栃木県、福島県の飼養牛にも咽喉頭麻痺により嚥下障害を伴う疾病が発生し、茨城県同様ウイルスは分離されずPCR法により確定診断できたため、実際、野外で発生した

家畜疾病の診断にPCR法を応用した、わが国で初めての事例となった。

一方、10月下旬、栃木県めん羊牧場で、発熱、食欲不振、舌潰瘍の症状を示す症例が発生した。さらに咽喉頭麻痺による嚥下障害、顔面浮腫を示す、めん羊が続発し、発病めん羊の血液から細胞培養によりブルータングウイルスが分離され、血清型21に属していた。これらのことから北関東地方で牛及びめん羊に発生した「イバラキ病様疾病」は「ブルータング」であることが判明した。



茨城県で発生したブルータングの咽喉頭麻痺による嚥下障害、飲水の逆流による流涎、飲水の逆流

国際的にブルータングは、めん羊を中心に広く分布し、欧米から東南アジアにかけて発生が繰り返されてきた経緯がある。このブルータングでは感染めん羊が咽喉頭麻痺を起こし、舌がチアノーゼにより藍色（青色ではない）に変化するため藍舌病と言われ、OIE（国際獣疫事務所）では疾病の重要度リストAに指定されている。しかし日本におけるブルータングは、めん羊飼養頭数が少ないことから、病気の発生はないだろうと言われてきた。

なお九州、沖縄地方の飼養牛はブルータングウイルス血清型1、12及び20に対する抗体を保有していたが、疾病は確認されていなかった。西日本では、毎年ブルータングウイルスの流行があり抗体保有率も高いことから不顕性感染牛が多いものと思われる。北関東地方でブルータングは発生したが、感染経路は未だにわからない。臨床症状を伴ったブルータングの発生は関東、東北地方周辺に限られている。一般にブルータングウイルスの属するオルビウイルス属ウイルスの特徴として牛が感染すると、長期間血液中に存続することが知られており、ひとたび北関東地方のようなブルータングウイルス抗体陰性地域に侵入し発生すると、その地域で活動する媒介昆虫を介して飼養牛または、めん羊間で不顕性感染や軽微の発生が長期間続くものとする。その後、2001年栃木県めん羊に、2003年には宮城県和牛で、2005年福島県和牛で発生し、さらに2019年栃木県めん羊に発生している。

わが国のブルータングウイルスは、これまで鹿児島県のウシヌカカから分離され、沖縄県でも南方系のオーストラリアヌカカから分離されているため、このヌカカが運び屋となっている可能性は高いが、関東地方以北では、この種のヌカカが採集されない。まして東北地方では、どのような種類のヌカカや蚊によって媒介するのか全く明らかでない。

過去、九州でイバラキ病、茨城県でのブルータングに遭遇し、両疾病に対応できたことは幸いだったかも知れない。

近年、西日本地方で流行していたマダニ媒介性の重症熱性血小板減少症候群ウイルス（SFTSV）が北上し、マダニから野生動物、家畜、ペット、ヒトに及ぶ人畜共通感染症の流行が懸念されている。海外から侵入するウイルス病を危惧するよりまずは国内に存在し、温暖化変動によって媒介マダニの分布、活動力が拡大し、昨年6月千葉県で関東地方初のSFTS感染患者が確認されている。マダニに接触する機会の多い畜産関係者のみならず、動物と触れ合うことが多い獣医師もSFTSウイルス感染防止の啓発を行うことが重要である。

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 5



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

今、畜産業は担い手不足や国際化の進展など、大きな変化の局面にあります。そんな中、飼料を自ら生産したり、省力化を図ったりと、さまざまな工夫で素晴らしい経営を行っている生産者がたくさんいます。

このサイトでは、そうした各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介します。

この映像情報を生産者の方へもとより消費者の方々と共有することで、元気で健全な畜産の発展につなげることを目指しています。



畜産トレンド発見!

このコンテンツでは、生産現場での省力化技術や、飼料用米やエコフィードなどの活用による飼料コスト削減など、「技術」に着目して各地の事例を紹介します。

●配信中の内容●

牛の増頭に貢献する! 家畜改良事業団/総集編①地域と連携する畜産/総集編 畜産の最新研究・技術
ほか

ドキュメント! 畜産の新主役たち

このコンテンツでは、畜産物の安全性確保や6次産業化の取り組み、女性、障がい者など多様な担い手の活躍を「人」に着目して紹介します。

●配信中の内容●

総集編①家族経営の畜産を見る/総集編 畜産の未来を拓く女性/豚の肉質を中心とした育種改良技術
ほか

なるほど! 畜産現場

このコンテンツでは、畜産物ができるまでや、現場を支える職人たち、馬事文化などあまり知られていない様々な畜産現場を紹介します。

●配信中の内容●

美味しい豚肉が出来るまで(総集編)/鶏肉特集第1弾 江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集!/鶏肉特集第二弾! 我が国唯一の肉用鶏育種改良機関
ほか

グリーンチャンネル
でも放送中

--- 放送日 ---
毎週月~金曜日
朝7時~

「がんばる! 畜産! 5」

URL: <http://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

(お問合せ先)

公益社団法人中央畜産会 経営支援部 (情報)

TEL: 03-6206-0846 FAX: 03-5289-0890



令和4年7月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
13	一般子豚	41	13,310	4,070	7,780	50
	ベビー豚	179	13,640	5,060	12,299	35
27	一般子豚	35	20,460	5,610	11,550	50
	ベビー豚	159	22,000	2,750	15,022	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	75	1,162,700	264,000	572,000	289	1,981
		♂	0					
		去計	86	915,200	522,500	741,157	325	2,277
	F1	経産	161	1,162,700	264,000	662,357	308	2,148
		♀	9	679,800	298,100	476,544	-	-
	F1	去計	0					
		♂	0					
		去計	0					

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	32	825,000	418,000	635,663	282	2,255
		♂	0					
		去計	44	902,000	591,800	726,900	305	2,383
		去計	76	902,000	418,000	688,484	295	2,332

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日		豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日					牛枝肉：毎週月曜日、木曜日				
畜種	項目	上場頭数		卸売価格（枝肉1kg当たり単価・円）					屠畜頭数		
		頭数	平均重量（kg）	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
	豚	9,497.0	70.8	886	697	665	617	457	624	20,318	765.0
	牛	頭数	平均重量（kg）	5	4	3	2	1	平均単価（円）		
和牛	A	227	257	502.9	2,651	2,362	1,943	1,393	－	2,484	
	B	25			2,155	2,166	1,515	1,107	－		
	C	5			－	－	－	1,404	825		
乳牛	A	－	201	291.3	－	－	－	－	－	625	
	B	4			－	－	－	701	574		
	C	197			－	－	－	687	597		
交雑牛	A	8	38	459.1	2,000	1,826	1,714	1,461	－	1,515	
	B	21			－	1,758	1,642	1,270	－		
	C	9			－	－	1,472	1,133	756		

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5、9、15、19、25、29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	1	77,000	77,000	77,000
		♂	60	181,500	27,500	111,778
		去	0			
		計	61	181,500	27,500	111,208
	子牛	♀	1	93,500	93,500	93,500
		♂	1	24,200	24,200	24,200
		去	0			
		計	2	93,500	24,200	58,850
F1	スモール	♀	41	227,700	77,000	162,907
		♂	54	255,200	124,300	217,494
		去	0			
		計	95	255,200	77,000	193,936
	子牛	♀	3	232,100	226,600	228,800
		♂	0			
		去	0			
		計	3	232,100	226,600	228,800
黒毛和種	スモール	♀	2	409,200	401,500	405,350
		♂	11	495,000	386,100	457,600
		去	0			
		計	13	495,000	386,100	449,562
	子牛	♀	2	504,900	426,800	465,850
		♂	0			
		去	0			
		計	2	504,900	426,800	465,850

地方競馬場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL：029-265-5800

2022年10月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
オフトひたちなか			大 井							川 崎							浦 和							船 橋							大井

○東京盃

○レディスプレリュード

○鎌倉記念

○埼玉新聞栄冠賞

○平和賞

2022年11月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
オフトひたちなか	大井							川崎							大井								浦和						船橋	

○サンタアニタロフィー

○ローレル賞

○ロジータ記念

○ハイセイコー記念

○浦和記念

○クイン賞

※発売日程は、変更になることがあります。

※営業時間、勝馬投票券の発売やレース日程の詳細については、オフトひたちなかへお問い合わせください。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

令和5年度

茨城県立農業大学校入学生募集

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

募集人員等

区分	学科名	募集人員	受験資格	修業年限	専攻コース
学科	農学科	40名	高校等を卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10名		2年	
	園芸学科	30名		2年	施設野菜・花き
研究科		10名	農業大学校学科卒及び令和5年3月に卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力を有する者	2年	作物・園芸・畜産

願書受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (各学科)	令和4年10月3日(月)～ 10月21日(金)	令和4年11月1日(火)	小論文 口述試験(個別面接) 調査書等
一般入試 (各学科)	前期 令和4年11月14日(月)～ 12月9日(金)	令和4年12月16日(金)	筆記試験 口述試験(個別面接) 調査書等
	後期 令和5年1月30日(月)～ 2月22日(水)	令和5年3月2日(木)	
研究科 一般入試	令和4年11月14日(月)～ 12月9日(金)	令和4年12月16日(金)	筆記試験 口述試験(個別面接) 成績証明書等

授業料等

・入学試験手数料(2,200円)、入学科(5,650円)、授業料(年118,800円)、その他(教材費、後援会費など)

問い合わせ先

〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡4070-186
茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL029-292-0010

農大ホームページ 茨城県立農業大学校／茨城県

検索



わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661

FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp>

<http://www.haccp.jp>

茨城県が誇る、極上の霜降り牛肉

常陸牛



ひたちぎゅう



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

茨城県銘豚振興会

事務局

〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950

全国農業協同組合連合会 茨城県本部内

TEL / 029 - 292 - 8004

FAX / 029 - 292 - 7743

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

○当協会に対する意見・要望

Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」

Eメール kobayashi-kenichi@ibaraki-lia.or.jp

○ホームページ

<http://ibaraki.lin.gr.jp>